

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 11 月 10 日(2022.11.10)

【公開番号】特開 2021-83940(P2021-83940A)
【公開日】令和 3 年 6 月 3 日(2021.6.3)
【年通号数】公開・登録公報 2021-025
【出願番号】特願 2019-216887(P2019-216887)
【国際特許分類】
A 6 1 B 3/103(2006.01)
【F I】
A 6 1 B 3/103

10

【手続補正書】
【提出日】令和 4 年 11 月 1 日(2022.11.1)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

被検眼の眼屈折力を測定する眼科測定装置であって、
前記被検眼に測定光を投光し、前記被検眼で反射した前記測定光を受光することによって、前記眼屈折力に応じたパターン像を取得する測定光学系と、
前記測定光が通過する瞳領域のうち、特定された部分瞳領域に対応する前記パターン像に基づいて前記眼屈折力を算出する演算手段と、
を備えることを特徴とする眼科測定装置。

【請求項 2】

前記演算手段は、前記部分瞳領域に応じて分割された前記パターン像に基づいて前記眼屈折力を算出することを特徴とする請求項 1 の眼科測定装置。

30

【請求項 3】

前記演算手段は、複数の前記部分瞳領域にそれぞれ対応する複数の前記眼屈折力を算出可能であることを特徴とする請求項 1 または 2 の眼科測定装置。

【請求項 4】

前記被検眼の前眼部を撮影することで前眼部画像を取得する撮影光学系をさらに備え、
前記演算手段は、前記前眼部画像に基づいて前記部分瞳領域を特定することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかの眼科測定装置。

【請求項 5】

前記演算手段は、前記パターン像に基づいて前記部分瞳領域を特定することを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかの眼科測定装置。

40